令和8年度　第1回

和泉市地域包括支援センター運営協議会

令和8年9月7日（月）午後1時30分～

和泉市役所庁舎別館1階　会議室１－１

次　　第

１　　令和７年度第2回和泉市地域包括支援センター運営協議会　　Ｐ１　～ Ｐ２

振返りについて

介護予防支援における給付件数　　Ｐ３

（報告）

２　　活動状況について

Ⅰ．和泉市の高齢者等の状況　　Ｐ４　～ Ｐ5

Ⅱ．地域包括支援センターの活動状況について

Ⅱ-1．地域包括支援センターの活動状況について　　Ｐ6　～ Ｐ16

Ⅱ-2．基幹機能強化型地域包括支援センターの活動状況について　　Ｐ17　～ Ｐ18

Ⅱ-3．認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況について　　Ｐ19　～ Ｐ21

Ⅱ-4．認知症地域支援推進員の活動状況について　　Ｐ22　～ Ｐ24

Ⅱ-5．生活支援コーディネーター事業の活動状況について　　Ｐ25　～ Ｐ28

（報告）

３　　第９期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の評価ならびに次期計画策定について　　別紙

（報告）

４　　令和７年度地域包括支援センター決算報告　　別紙

（参考）

令和８年度　地域包括支援センター職員一覧表　　P29

資料１

１　**令和７年度　第2回和泉市地域包括支援センター運営協議会　振返り資料**

【開 催 日 】令和8年3月13日　午後２時～
【主な内容】１．地域包括支援センター取り組み状況について（レーダーチャート）
２．高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の活動指標の進捗状況について
３．令和７年度地域包括支援センター活動状況等及び
令和８年度地域包括支援センター重点取り組・事業計画（案）について
４．介護予防支援の指定事業所について
５．令和８年度地域包括支援センター予算案について

NO	提案	その場対応	対応状況
1	地域ケア会議の開催回数が目標値より低い状況で、個別ケースが取り残されていないか、包括の機能が十分に果たされているのかという懸念。	地域ケア会議の開催回数は目標に達していないが、個別のケースについては随時対応しており、地域ケア会議に集約されない課題にも柔軟に対応している。今後、会議の活性化と効果的な運営について、開催頻度や内容を検討していく。	
2	新任職員へのプロセス評価面談の内容詳細と、離職防止の観点から長期的なサポートや希望者への対応の重要性。	プロセス評価面談では、個々の目標達成度や業務習熟度を確認し、課題があればOJTを含め具体的な支援計画を立てている。離職防止のためには、定期的な面談に加え、職員間の情報共有の場を増やし、孤立感の解消に努めている。希望があれば外部研修への参加も促している。	
3	権利擁護（後見制度）の法改正について、地域包括支援センターに対し、本人や家族への丁寧な説明とサポートの要望。		法改正の内容については、現在国からの情報収集を行っており、詳細が判明次第、職員向けに勉強会を開催し、知識の習得を図る。市民への説明資料の作成や、相談会の実施など、適切な情報提供とサポート体制の構築を進める。
4	地域包括支援センターの周知不足について、広報いずみや社協新聞だけでなく、あらゆる媒体や地域での活動を通じて認知度向上を図る必要性。	現在も広報紙やウェブサイトでの情報発信は行っているが、今後は市内の掲示板、回覧板の活用、また地域イベントへのブース出展など、多角的な広報活動を検討していく。町内会や民生委員との連携を強化し、口コミによる周知も図る。	第9期介護保険策定に係る市民ニーズ調査（令和8年3月実施）による地域包括支援センターの認知度は以下のとおり。 ＊（　）内は第８期時の値 未認定者　４５．２％　（３９．２％） 要支援者　６４．５％　（５６．０％） 要介護者　６１．１％　（６７．３％）
5	いきいきいずみ体操の活動場所・参加方法のわかりにくさについて、情報の一元化（団体一覧）や、専門職を通じた案内、掲示板活用など、周知方法の改善。	「いきいきいずみ体操団体一覧」があり、圏域毎に情報を整理し掲載している。情報は随時更新し、地域包括支援センターや保健福祉センター、地域活動者へ配布している。活動団体の立ち上げ時には、地域への周知や専門職への情報発信を行っている。情報が行き届いていない現状があり、掲示板の活用や包括に相談いただくなど改善を図っていきたい。	ケアマネジャーにも介護保険サービスのみでなくインフォーマル資源の活用も含め個別の相談時に案内できるよう情報を共有を行うとともに、市内の主要施設へのポスター掲示も強化する。

6	いきいきいずみ体操団体の発表会・交流会は既に参加している人を対象とするものなので、様々なインフォーマルの集まりがあることを広く市民全体への周知するような、情報を自らつかみいけるイベントがあってもおもしろいのではないか。		市域を対象に健康まつりや福祉会館フェスタなどの開催や、第2圏域では防災体験やマルシェなどを通じて世代を超えて拘留する地域共生型イベント「つながりフェスティバル」が開催されている。 こうした既存イベントの場を活用した広報・啓発を実施するとともに、市民が主体的にインフォーマル情報へアクセスできるよう、情報検索システムにおける検索機能の維持・充実や、情報の探しやすさ・手に入れやすさの向上に努める。
7	要支援者のケアプラン作成件数について、法改正による居宅介護支援事業所への指定拡大後の件数把握状況（直指定）と、市町村ごとの内訳もわかるのか。	法改正後のケアプラン作成件数は、集計中にて可能な範囲で整理して、次回協議会で説明できればと考える。	介護予防支援における給付件数について、次ページ参照。

介護予防支援における給付件数

抽出条件：令和６年４月～令和７年３月、各事業所ごとの※介護予防支援（46コード）延件数
令和７年４月～令和８年３月、各事業所ごとの※介護予防支援（46コード）延件数

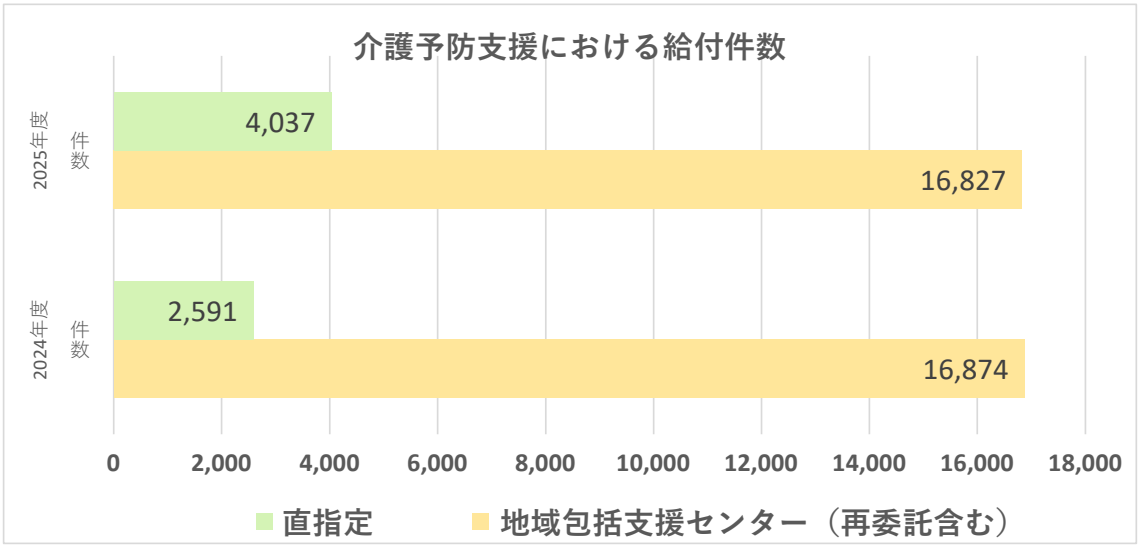
介護予防支援（46コード）・・・要支援認定を受けた方が、介護保険の「予防給付」サービスを利用する際に必要となる、ケアプランの作成や、その後のモニタリングなどのケアマネジメント業務に対する報酬コード

件数（件）

事業所	2024年度	2025年度
	件数	件数
和泉市社会福祉協議会地域包括支援センター	3,859	4,029
ビオラ和泉地域包括支援センター	5,141	5,183
光明荘地域包括支援センター	3,979	4,080
貴生会地域包括支援センター	3,895	3,535
地域包括支援センター（再委託含む）	16,874	16,827
直指定	2,591	4,037
計	19,465	20,864

割合（%）

事業所	2024年度	2025年度
	件数	件数
地域包括支援センター（再委託含む）	86.7	80.7
直指定	13.3	19.3
計	100.0	100.0



2　活動状況について

Ⅰ．和泉市の高齢者等の状況

各年度3月末現在

１．生活圏域別高齢者人口と高齢化率

資料：和泉市住民登録人口調

（１）65歳以上人口　(人)

	令和5年度	令和６年度	令和７年度
圏域１	10,257	10,205	10,162
圏域２	13,256	13,404	13,547
圏域３	11,401	11,678	11,936
圏域４	12,801	12,774	12,797
男女計	47,715	48,061	48,442

（２）高齢化率（人口に対する65歳以上高齢者の割合）　(%)

		令和5年度	令和６年度	令和７年度
圏域１	信太	30.6	30.8	31.1
	富秋	31.3	30.9	30.7
圏域２	郷荘	27.6	28.2	28.8
	和泉	25.0	25.2	25.5
圏域３	郷荘	29.6	30.8	30.3
	石尾	20.5	20.8	21.4
	北池田	24.5	25.3	26.0
圏域４	光明台	30.1	30.7	31.4
	南松尾はつが野	20.4	17.0	16.7
	南池田	21.2	21.8	22.0
	槇尾	41.4	41.2	41.6
計		26.1	26.4	26.8

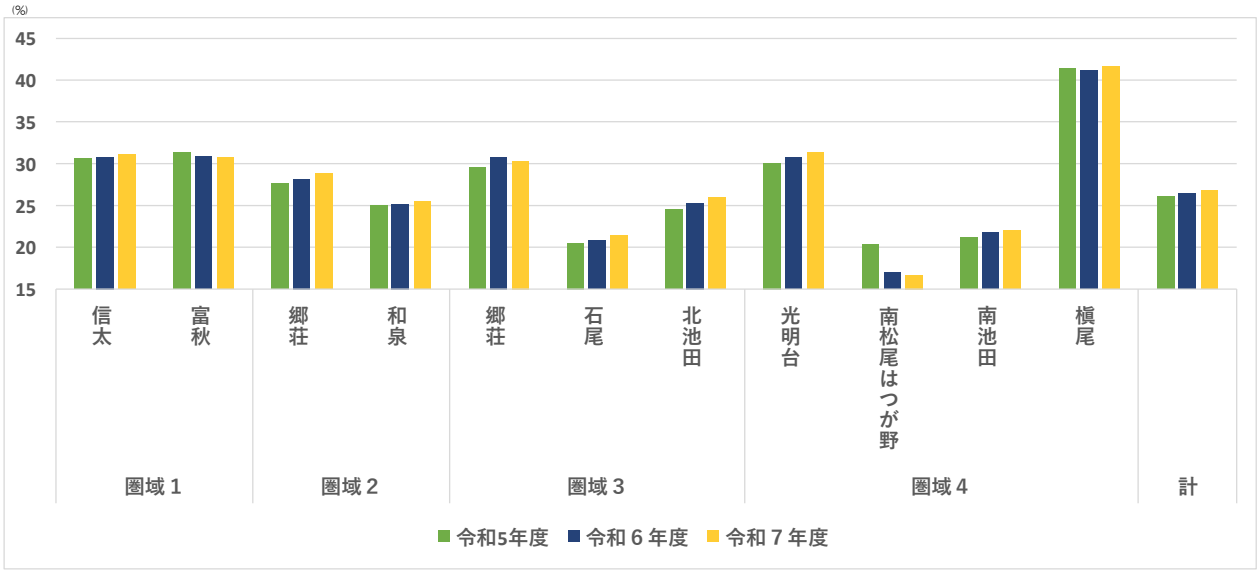
圏域1
＝　31.0%
圏域2
＝　27.0%
圏域3
＝　24.2%
圏域４
＝　26.3%

（３）75歳以上の割合　(%)

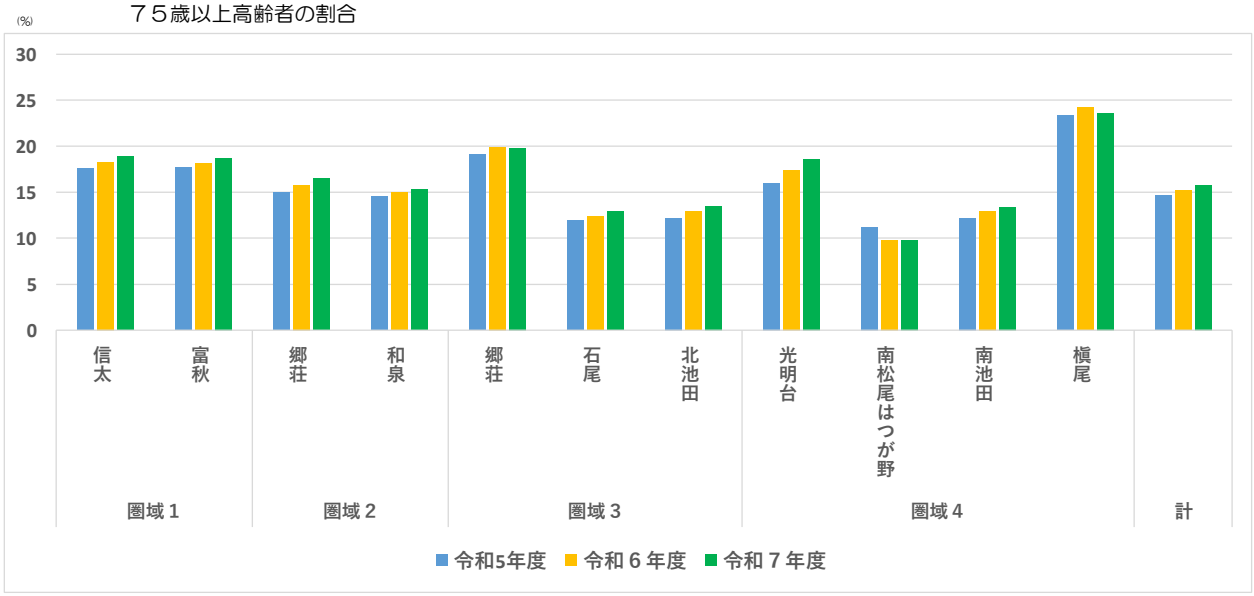
		令和5年度	令和６年度	令和７年度
圏域１	信太	17.6	18.3	18.9
	富秋	17.7	18.1	18.7
圏域２	郷荘	15.0	15.8	16.5
	和泉	14.5	15.0	15.3
圏域３	郷荘	19.1	19.9	19.8
	石尾	12.0	12.4	12.9
	北池田	12.2	12.9	13.5
圏域４	光明台	16.0	17.4	18.6
	南松尾はつが野	11.2	9.8	9.8
	南池田	12.2	13.0	13.4
	槇尾	23.3	24.2	23.6
計		14.6	15.2	15.8

圏域1
＝　18.9%
圏域2
＝　15.9%
圏域3
＝　13.5%
圏域４
＝　15.9%

高齢化率



７５歳以上高齢者の割合



分析など

●高齢者数
市全体として増加傾向。

●高齢化率
和泉市は中心部を中心に若い世代の流入があり、国や府の値よりも低くなっている。

〈65歳以上〉全　国：29.4％（R7.10.1時点）
大阪府：27.6％（R6.10時点）
和泉市：26.6％（R7.11 末時点）

〈75歳以上〉全　国：17.3％（R7.10.1時点）
大阪府：16.7％（R6.10.1時点）
和泉市：15.2％（R7.11 末時点）

●経年比
高齢化率は毎年右肩上がり。特に、後期高齢者の比率が大きくなっている。

●地域差
槇尾中学校区は高齢化率が40％を超え、第１圏域の信太、富秋、第3圏域の郷荘（寺田町）、第４圏域の光明台が30％程度となっている。

Ⅱ．地域包括支援センターの活動状況について

Ⅱ-1．令和７年度　地域包括支援センターの活動について

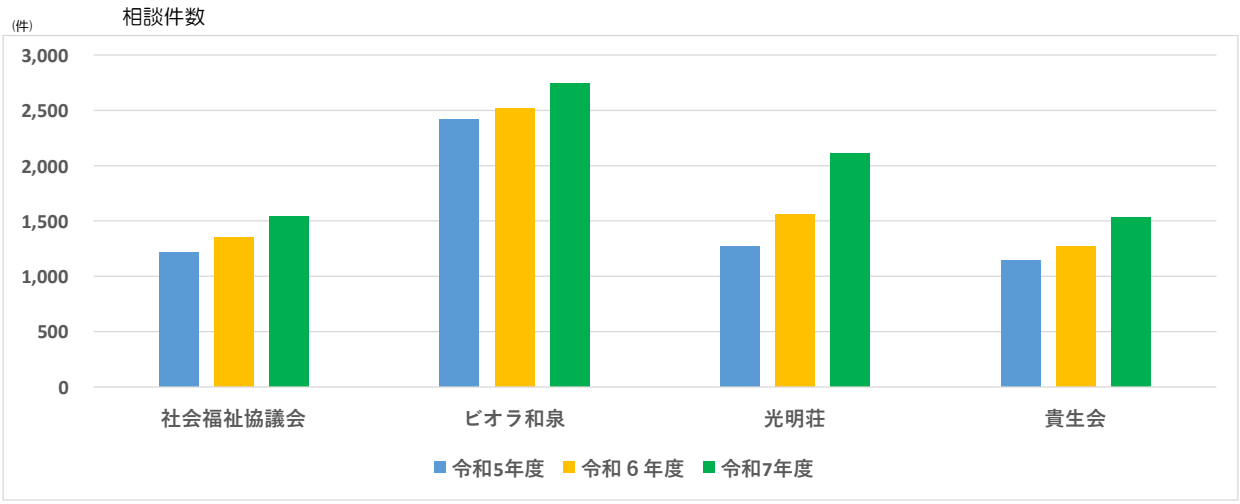
1.総合相談支援業務

（1）相談件数（延）

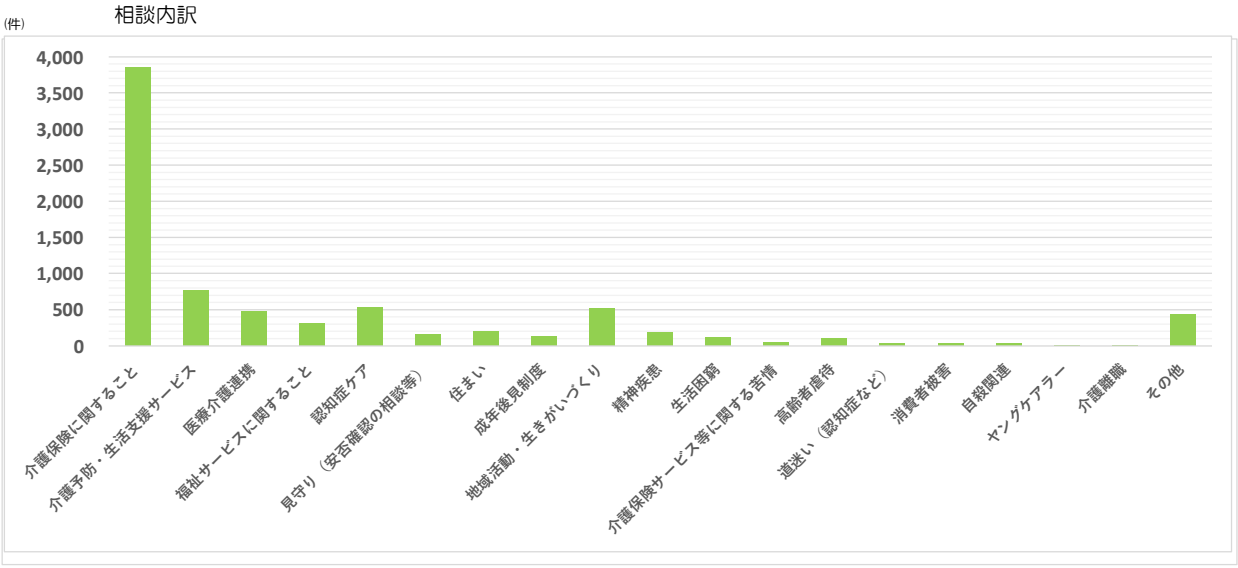
	令和5年度	令和６年度	令和7年度
社会福祉協議会	1,214　件	1,352　件	1,541　件
ビオラ和泉	2,415　件	2,515　件	2,742　件
光明荘	1,273　件	1,555　件	2,111　件
貴生会	1,145　件	1,273　件	1,528　件
計	6,047　件	6,695　件	7,922　件

（2）相談件数 令和7年度　内訳(延)

	社会福祉協議会	ビオラ和泉	光明荘	貴生会	合計	合計(令和6年度)
介護保険に関すること	860　件	1,184　件	902　件	911 件	3,857 件	3,552　件
介護予防・生活支援サービス	100　件	388　件	244　件	35 件	767 件	746　件
医療介護連携	96　件	121　件	186　件	81 件	484 件	404　件
福祉サービスに関すること	74　件	86　件	89　件	55 件	304 件	369　件
認知症ケア	59　件	285　件	117　件	61 件	522 件	402　件
見守り（安否確認の相談等）	33　件	33　件	50　件	41 件	157 件	169　件
住まい	47　件	26　件	62　件	65 件	200 件	136　件
成年後見制度	30　件	30　件	56　件	22 件	138 件	108　件
地域活動・生きがいづくり	4　件	378　件	128　件	7 件	517 件	126　件
精神疾患	48　件	59　件	43　件	31 件	181 件	90　件
生活困窮	32　件	35　件	31　件	11 件	109 件	58　件
介護保険サービス等に関する苦情	14　件	8　件	11　件	16 件	49 件	47　件
高齢者虐待	25　件	26　件	22　件	21 件	94 件	49　件
道迷い（認知症など）	3　件	16　件	10　件	11 件	40 件	27　件
消費者被害	11　件	8　件	7　件	3 件	29 件	19　件
自殺関連	22　件	13　件	3　件	0 件	38 件	18　件
ヤングケアラー	2　件	0　件	0　件	0 件	2 件	6　件
介護離職	2　件	2　件	0　件	0 件	4 件	0　件
その他	79　件	44　件	150　件	157 件	430 件	369　件
計	1,541　件	2,742　件	2,111　件	1,528　件	7,922　件	6,695　件



●高齢者が増加していることから、相談件数は基本的に右肩上がり。
●ビオラ和泉の相談ケースが非常に多くなっているが、ビオラ和泉は地域に出向くことが多く、相談を受ける機会が多いためと考えられる。



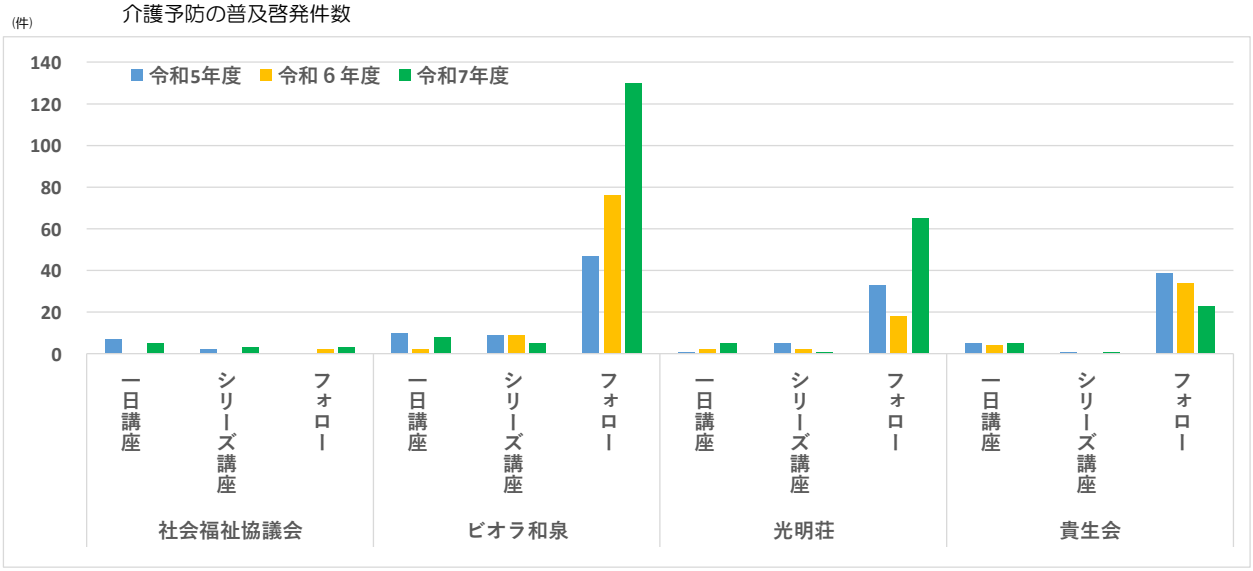
●相談内訳は、介護保険に関することが最も多く、次に介護予防・生活支援サービス、そして認知症ケア、地域活動・生きがいづくり、医療介護連携が多い。介護や認知症問題、医療介護連携、介護予防や地域づくりに相談が集中しており、包括が相談機関として機能してると考えられる。
●特に、令和6年度と比較して地域活動・生きがいづくりが最も増加しており、地域活動や社会参加といった介護予防に繋がる動きがみられる。続いて、精神疾患、生活困窮、高齢者虐待が多く、複合的な課題への対応を求められる相談が増加していると推察される。また、認知症ケアや道迷い、消費者被害の相談件数も増加しており、各包括に配置している認知症地域支援推進員とともに総合的な相談体制の強化が図られている。

3.介護予防普及啓発業務

（１）介護予防の普及啓発件数（延）

		令和5年度	令和６年度	令和7年度
社会福祉協議会	一日講座	7 件	0 件	5 件
	シリーズ講座	2 回	0 回	3 回
	フォロー	0 回	2 回	3 回
ビオラ和泉	一日講座	10 件	2 件	8 件
	シリーズ講座	9 回	9 回	5 回
	フォロー	47 回	76 回	130 回
光明荘	一日講座	1 件	2 件	5 件
	シリーズ講座	5 回	2 回	1 回
	フォロー	33 回	18 回	65 回
貴生会	一日講座	5 件	4 件	5 件
	シリーズ講座	1 回	0 回	1 回
	フォロー	39 回	34 回	23 回
計	一日講座	23 件	8 件	23 件
	シリーズ講座	17 回	11 回	10 回
	フォロー	119 回	130 回	221 回

介護予防の普及啓発件数



（１）いきいきいずみ体操団活動体数

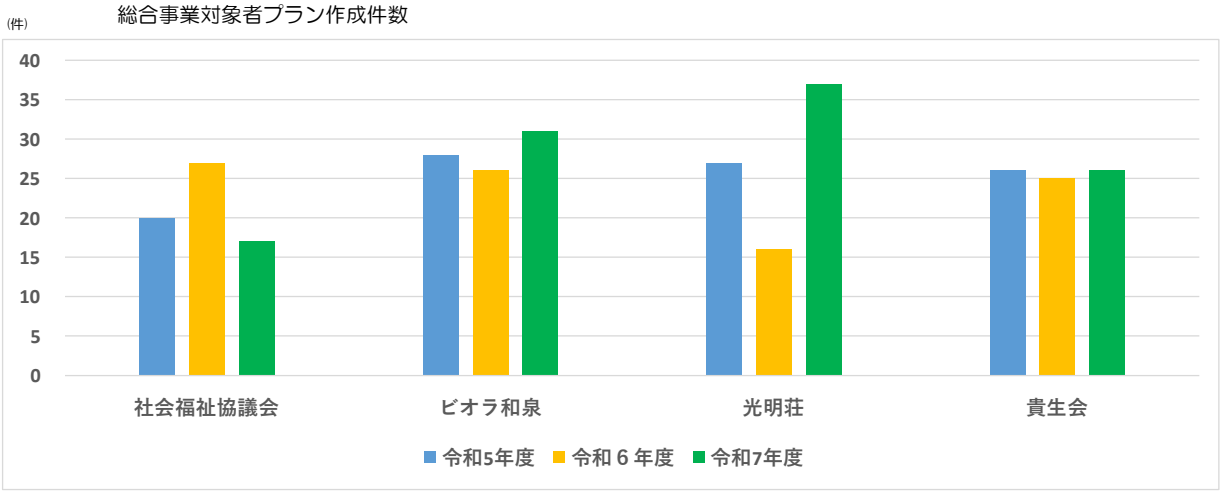
	令和5年度	令和６年度	令和7年度
社会福祉協議会	17 件	18 件	20 件
ビオラ和泉	31 件	34 件	38 件
光明荘	26 件	28 件	27 件
貴生会	21 件	22 件	23 件
計	95 件	102 件	108 件

●一日講座を実施した団体が、地域活動の立ち上げを支援するシリーズ講座を利用し、新規団体として活動開始に繋がっている。また、令和７年度は街かどデイハウスでも取り組みを開始しており、活動団体数も増加している。
●地域差があるものの、団体活動の継続性を支援するフォロー講座の件数が前年度と比較し大幅に増加している。
⇒引き続き、地域での介護予防に取り組んでもらえるよう、種まきとなる介護予防の周知を実施するとともに、活動団体の継続性を支援する取り組みを実施していく。

4.介護予防ケアマネジメント業務

（１）総合事業対象者プラン作成件数（新規）

	令和5年度	令和６年度	令和7年度
社会福祉協議会	20　件	27　件	17　件
ビオラ和泉	28　件	26　件	31　件
光明荘	27　件	16　件	37　件
貴生会	26　件	25　件	26　件
計	101　件	94　件	111　件



●総合事業のサービスである、はつらつ教室、おたがいさまサポーター事業、移動支援サービス事業を利用するにあたり作成するケアプランの作成件数であり、前年度より件数は増加している。
●ビオラ和泉や光明荘については前年度より更に、はつらつ教室へつなぐ件数が伸びている。
⇒自立した生活をおくれるよう介護予防や地域資源の活性化など、総合事業の推進を図っていく。

（2）要支援者

①プラン作成件数（新規＋更新）

		令和5年度		令和６年度		令和７年度	
社会福祉協議会	包括	175	件	121	件	112	件
	委託	735	件	664	件	688	件
	委託率	80.8	%	84.6	%	86.0	%
ビオラ和泉	包括	31	件	7	件	5	件
	委託	805	件	659	件	452	件
	委託率	96.3	%	98.9	%	98.9	%
光明荘	包括	73	件	111	件	98	件
	委託	1,019	件	905	件	811	件
	委託率	93.3	%	89.1	%	89.2	%
貴生会	包括	81	件	47	件	31	件
	委託	1,080	件	584	件	542	件
	委託率	93.0	%	92.6	%	94.6	%
計	包括	360	件	286	件	246	件
	委託	3,639	件	2,812	件	2,493	件
	委託率	91.0	%	90.8	%	91.0	%

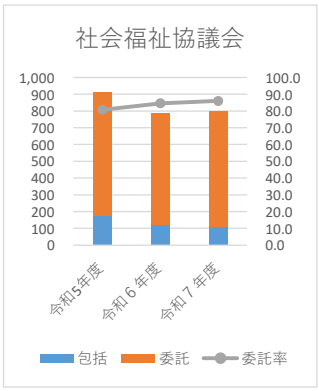
②給付管理件数（延）

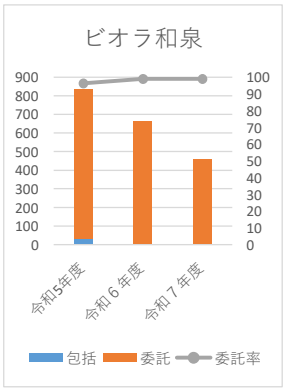
		令和5年度		令和６年度		令和７年度	
社会福祉協議会	包括	1,628	件	1,609	件	1,287	件
	委託	4,640	件	4,641	件	5,034	件
	委託率	74.0	%	74.3	%	79.6	%
ビオラ和泉	包括	350	件	23	件	22	件
	委託	7,551	件	7,233	件	8,040	件
	委託率	95.6	%	99.7	%	99.7	%
光明荘	包括	355	件	539	件	594	件
	委託	6,215	件	6,202	件	6,018	件
	委託率	94.6	%	92.0	%	91.0	%
貴生会	包括	454	件	465	件	419	件
	委託	7,870	件	6,476	件	5,351	件
	委託率	94.5	%	93.3	%	92.7	%
計	包括	2,787	件	2,636	件	2,322	件
	委託	26,276	件	24,552	件	24,443	件
	委託率	90.4	%	90.3	%	91.3	%

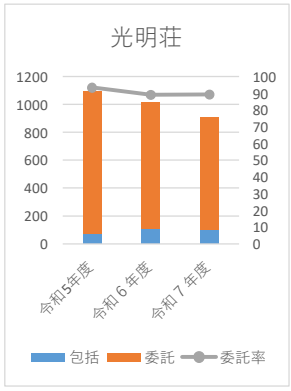
③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）

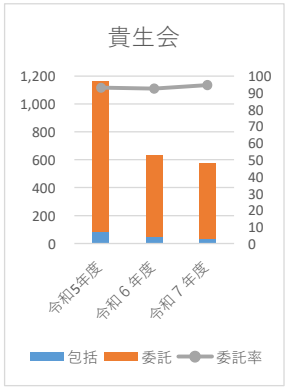
		令和5年度		令和６年度		令和７年度	
社会福祉協議会	実人数	106	人	147	人	111	人
	改善	40.3	%	42.0	%	45.2	%
	維持	44.9	%	33.3	%	37.4	%
	悪化	14.8	%	24.6	%	17.4	%
ビオラ和泉	実人数	58	人	6	人	2	人
	改善	60.2	%	50.0	%	100.0	%
	維持	25.0	%	0.0	%	0.0	%
	悪化	14.8	%	50.0	%	0.0	%
光明荘	実人数	59	人	89	人	68	人
	改善	35.3	%	37.8	%	30.3	%
	維持	39.7	%	31.6	%	40.4	%
	悪化	25.0	%	30.6	%	29.2	%
貴生会	実人数	67	人	57	人	36	人
	改善	22.4	%	20.3	%	17.8	%
	維持	56.5	%	46.4	%	53.3	%
	悪化	21.2	%	33.3	%	28.9	%
計	実人数	290	件	299	件	217	件
	改善	40.0	%	36.4	%	38.9	%
	維持	42.5	%	35.0	%	39.7	%
	悪化	17.5	%	28.6	%	21.5	%

①プラン作成件数（新規・更新）

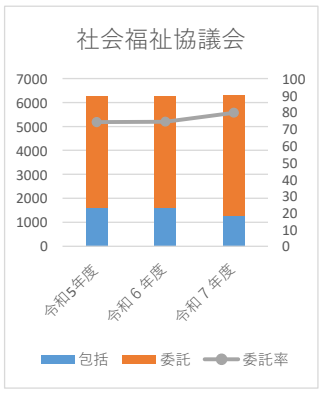


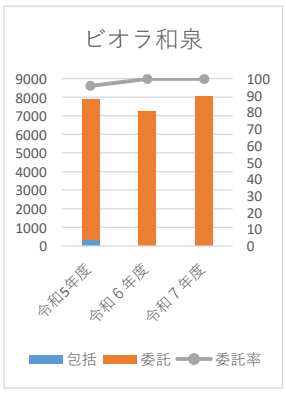


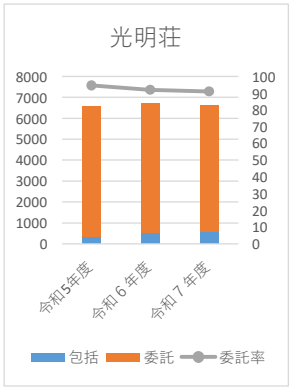


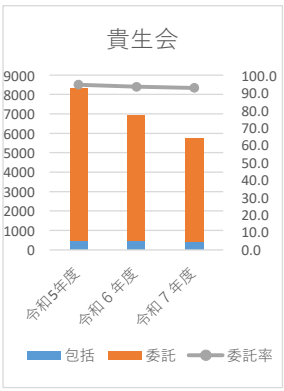


②給付管理件数（延）

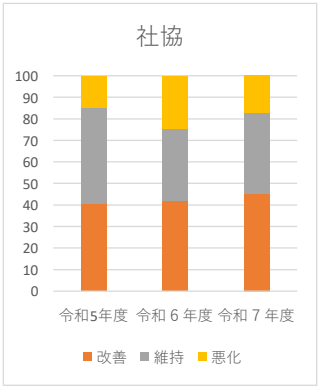


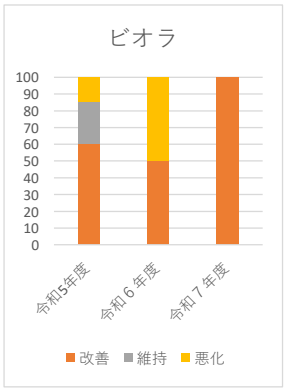


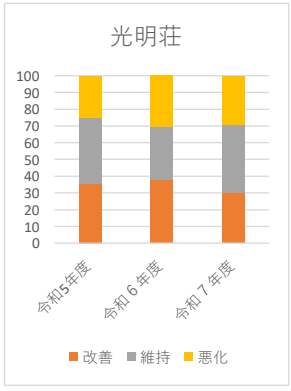


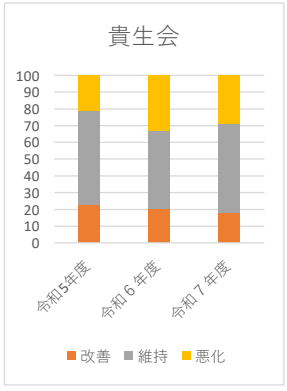


③評価件数：目標に対する効果評価件数（延）









包括業務として相談ケースの増加や多様化、地域への各種事業の普及啓発活動などの必要性の増加など、多くの事業があることから包括によるプラン作成が困難になってきている。このことを受け、介護予防支援について、令和6年度から居宅介護支援事業所も市町村からの指定対象となり、ケアプラン作成が可能となっている。
●新規、給付管理共に多くのプランを居宅介護支援事業所へ再委託を行っている状況（9割以上）。
●圏域別の再委託率をみると、新規、給付管理共にビオラ和泉が最も高く、社会福祉協議会が最も低い。
●包括が作成したプランの目標に対する効果評価件数をみると、維持・改善が約8割（前年度7割）を占めている。

5. 権利擁護業務（延）

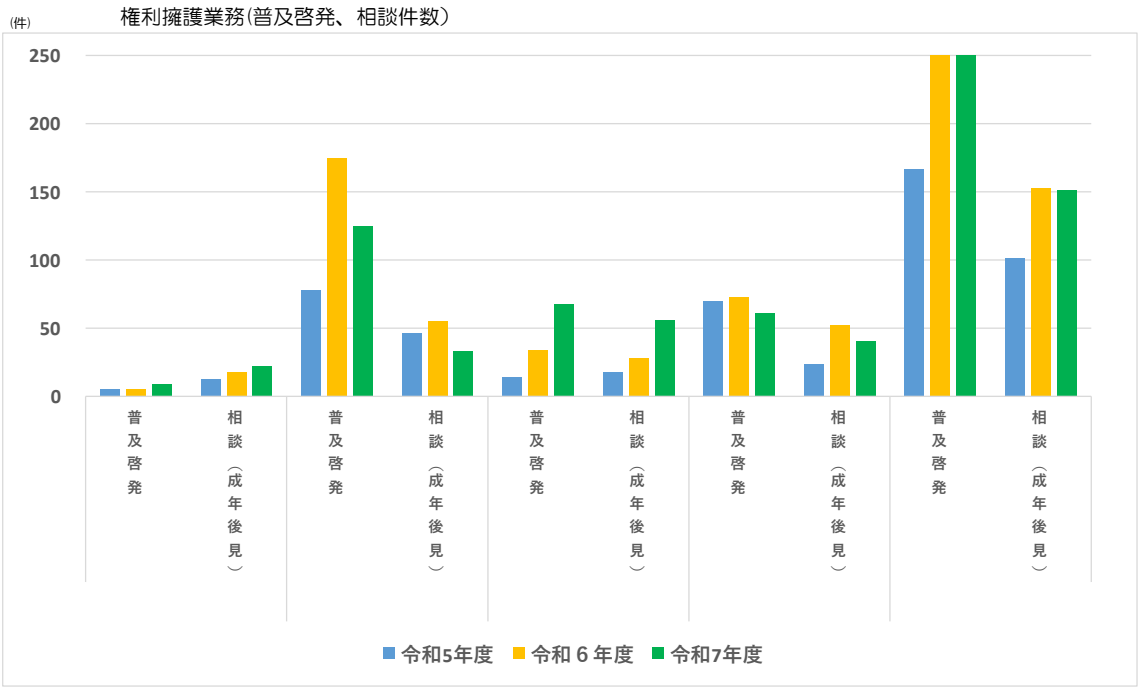
		令和5年度	令和６年度	令和7年度
社会福祉協議会	普及啓発	5 件	5 件	9 件
	相談（成年後見）	13 件	18 件	22 件
ピオラ和泉	普及啓発	78 件	175 件	125 件
	相談（成年後見）	46 件	55 件	33 件
光明荘	普及啓発	14 件	34 件	68 件
	相談（成年後見）	18 件	28 件	56 件
貴生会	普及啓発	70 件	73 件	61 件
	相談（成年後見）	24 件	52 件	40 件
計	普及啓発	167 件	287 件	263 件
	相談（成年後見）	101 件	153 件	151 件

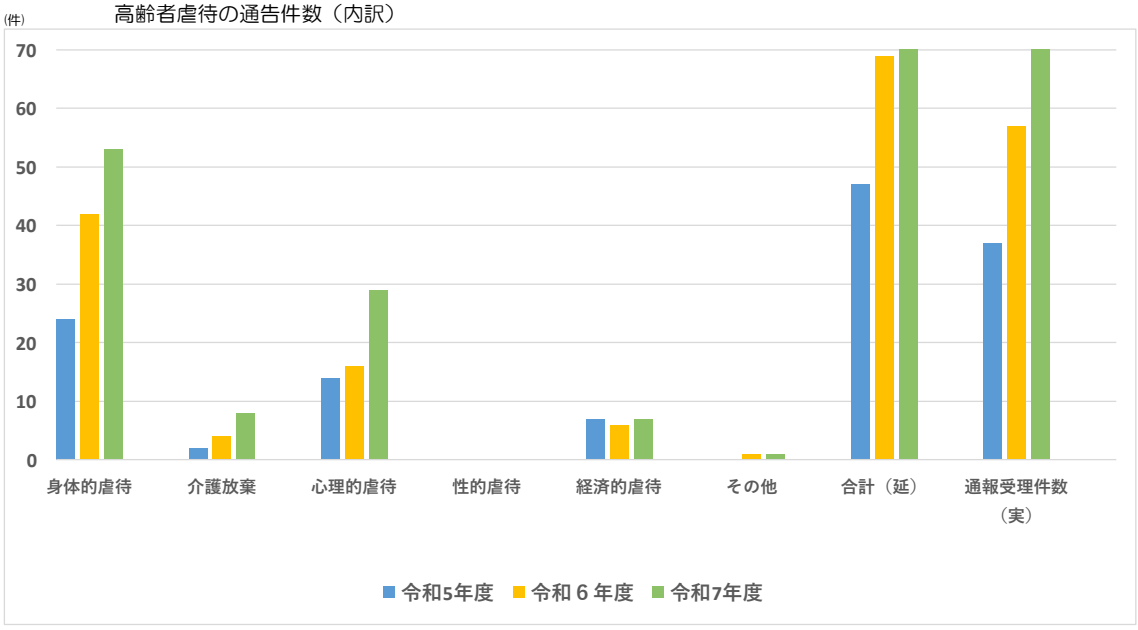
※参考「虐待通報受理件数」の虐待種別内訳について　　（単位：件）

種別＼年度	令和5年度	令和６年度	令和7年度
身体的虐待	24	42	53
介護放棄	2	4	8
心理的虐待	14	16	29
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	7	6	7
その他	0	1	1
合計（延）	47	69	98
通報受理件数（実）	37	57	79

＊その他：セルフネグレクトの疑い、虐待とは言いきれないが不適切な状況

〇通報受理件数１件に対し、複数の虐待種別が重複する場合があるため、虐待種別の合計（延）は、通報受理件数（実）よりも多くなっている。





●普及啓発件数の内訳として、成年後見制度30件、高齢者虐待14件、消費者被害219件で、昨年度に引き続き消費者被害防止の関心が高く、積極的に地域へ出向き注意喚起を行っている。
●成年後見制度の相談件数は年間100件を超えており、高齢者数の増加とともに必要性は高まると予測されることから、令和６年１０月より新たに設置された中核機関（機能分散型）を中心に、いずみ成年後見人サポートセンターと連携して、成年後見制度の周知及び地域連携ネットワークの構築等に取り組んでいく。
●高齢者虐待の通告件数については、令和6年度に比べ増加している。種別は、身体的虐待が最も多く過半数を占め、次いで心理的虐待3割である。通告のあった件数のうち約2割が虐待ありと判断され、関係機関と連携のうえ集中的な支援を行っている。

6. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

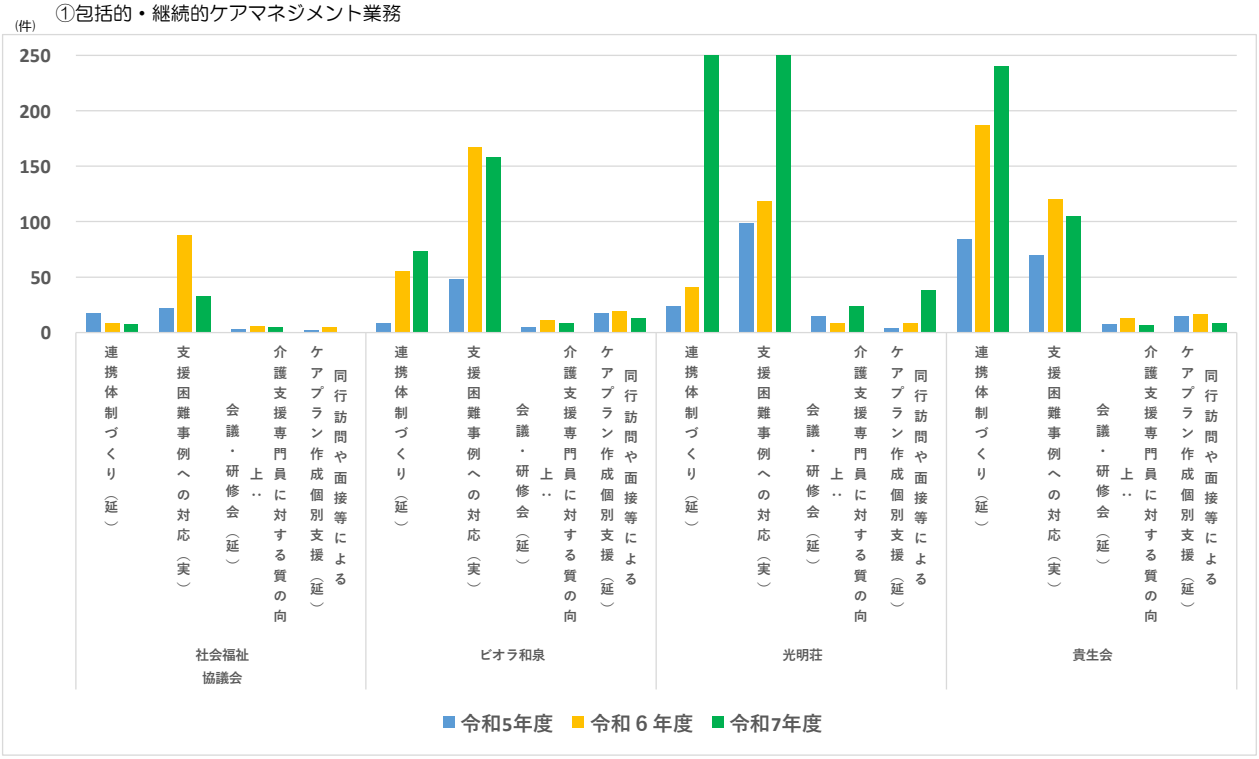
①包括的・継続的ケアマネジメント業務

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	連携体制づくり（延）	18 件	9 件	8 件
	支援困難事例への対応（実）	22 件	88 件	33 件
	介護支援専門員に対する質の向上：会議・研修会（延）	3 件	6 件	5 件
	同行訪問や面接等によるケアプラン作成個別支援（延）	2 件	5 件	0 件
ビオラ和泉	連携体制づくり（延）	9 件	55 件	74 件
	支援困難事例への対応（実）	48 件	167 件	158 件
	介護支援専門員に対する質の向上：会議・研修会（延）	5 件	11 件	9 件
	同行訪問や面接等によるケアプラン作成個別支援（延）	18 件	19 件	13 件
光明荘	連携体制づくり（延）	24 件	41 件	309 件
	支援困難事例への対応（実）	99 件	119 件	307 件
	介護支援専門員に対する質の向上：会議・研修会（延）	15 件	9 件	24 件
	同行訪問や面接等によるケアプラン作成個別支援（延）	4 件	9 件	38 件
貴生会	連携体制づくり（延）	84 件	187 件	240 件
	支援困難事例への対応（実）	70 件	120 件	105 件
	介護支援専門員に対する質の向上：会議・研修会（延）	8 件	13 件	7 件
	同行訪問や面接等によるケアプラン作成個別支援（延）	15 件	17 件	9 件
計	連携体制づくり（延）	135 件	292 件	631 件
	支援困難事例への対応（実）	239 件	494 件	603 件
	介護支援専門員に対する質の向上：会議・研修会（延）	31 件	39 件	45 件
	同行訪問や面接等によるケアプラン作成個別支援（延）	39 件	50 件	60 件

②地域ケア会議開催件数

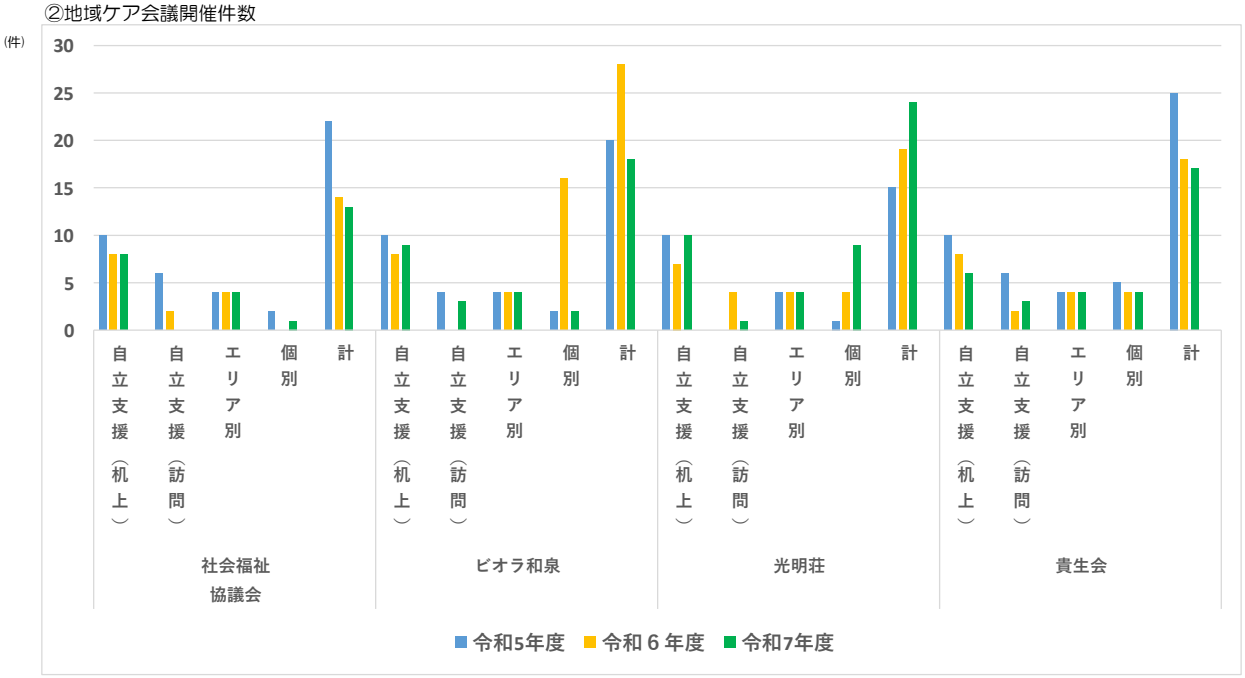
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	自立支援（机上）	10 件	8 件	8 件
	自立支援（訪問）	6 件	2 件	0 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	2 件	0 件	1 件
	計	22 件	14 件	13 件
ビオラ和泉	自立支援（机上）	10 件	8 件	9 件
	自立支援（訪問）	4 件	0 件	3 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	2 件	16 件	2 件
	計	20 件	28 件	18 件
光明荘	自立支援（机上）	10 件	7 件	10 件
	自立支援（訪問）	0 件	4 件	1 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	1 件	4 件	9 件
	計	15 件	19 件	24 件
貴生会	自立支援（机上）	10 件	8 件	6 件
	自立支援（訪問）	6 件	2 件	3 件
	エリア別	4 件	4 件	4 件
	個別	5 件	4 件	4 件
	計	25 件	18 件	17 件
計	自立支援（机上）	40 件	31 件	33 件
	自立支援（訪問）	16 件	8 件	7 件
	エリア別	16 件	16 件	16 件
	個別	10 件	24 件	16 件
	計	82 件	79 件	72 件

①包括的・継続的ケアマネジメント業務



●関係機関やインフォーマルな機関、医療機関などケアマネ支援に繋がる連携体制づくりに関する「連携体制づくり」の件数が全体的に増加している。高齢者の増加に加え、ニーズが多様化してきており、連携体制づくりは重要度を増してきている。
●支援困難事例への対応について、約8割がケアマネからの相談であり、ケアマネへの支援体制の重要度が増している。
●介護予防支援について、居宅介護支援事業所が直接プランを持つケースの増加が見込まれる。今後もケマネジメントにかかるケアマネへの個別支援（アセスメント支援、ケアプラン作成支援、自立支援型地域ケア会議活用への支援など）を図っていく。
●包括的・継続的ケアマネジメント業務について、光明荘の件数が昨年度に比べ大幅に増加となっている。これは、主任ケアマネジャー以外に保健師等職種による電話相談が多いことによるものである。

②地域ケア会議開催件数



●地域ケア会議の開催件数は、個別地域ケア会議や自立支援型地域ケア会議(訪問型)の開催数の減少により昨年度より減っている。実施主体である包括において、個別のケース会議から地域全体の課題へつなげる視点を深めること、また開催しやすい環境づくりや居宅介護支援事業所への周知啓発を図ることが求められる。
●自立支援型地域ケア会議(机上型)では、直指定でプランを担う居宅介護支援事業所の増加が見込まれる中、ケアマネの介護予防マネジメント力向上の手段として効果的に活用できるよう体制整備を行っていく。

事業内容の説明

1 地域包括支援センターの職員体制

地域包括支援センターの職員体制については、法律で3職種の配置が義務づけられている。

2 総合相談支援業務

包括の職員が相談を受けた件数。生活支援コーディネーターが受けた相談数も含む。

3 介護予防普及啓発業務

包括が「いきいきいずみ体操」を地域に広めた件数。1日講座：包括がおためしで地域に普及する講座
フォロー：包括が立ち上げから半年後に体力測定などによる評価を行う

シリーズ講座：事業者が決定するまでは包括が、決定後は事業所が１日講座受講団体対象にいきいきいずみ体操活動団体の立ち上げに向けて全3回で介護予防を啓発する講座。

4 介護予防ケアマネジメント業務

包括が法律上、要支援者（事業対象者含む）のケアプランを作成することになっている（委託可能）

令和６年からは市の指定を受けた居宅介護支援事業所も介護予防支援（ケアプラン作成）が可能となった。

給付管理：包括が要支援者の給付管理を行うにあたって、給付費の支払いに関連した一連の業務。

5 権利擁護業務

成年後見制度の活用サポートや、消費者被害、虐待対応・防止・早期発見などの高齢者の権利を守る活動

6 包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域全体の医療・保健・介護分野の専門家から地域住民まで幅広いネットワークをつくるための活動

・自立支援（机上型）：月1回程度定期開催。理学療法士・作業療法士・管理栄養士・歯科衛生士・地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が個別事例を自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・自立支援（訪問型）：随時開催。個別事例について、作業療法士や管理栄養士・歯科衛生士と地域包括支援センター・ケース担当ケアマネジャー等が自宅を訪問し、対象者や家族とともに自立支援の視点で検討を行っている地域ケア会議。

・エリア別：各圏域で年間4回定期開催。地域における課題について、地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター・認知症機能強化型地域包括支援センター・CSW・和泉市社会福祉協議会・市、必要に応じて地域住民や関係機関が参加し検討する地域ケア会議。

・個別地域ケア会議：各圏域毎に随時開催。地域住民の日常生活における困難なことについて、本人・家族・関係機関・自治会など地域の関係者を含め検討する地域ケア会議。

Ⅱ-2. 令和7年度　基幹機能強化型地域包括支援センターの活動について（年間）

1. 基幹機能強化型地域包括支援センターの職員体制

職種	常勤換算	業務比率	
		本来業務	その他業務
社会福祉士	1人	91 %	9 %

2. 基幹機能強化型地域包括支援センターの活動状況

（1）後方支援の具体的取り組みについて

○介護予防普及啓発業務・総合相談支援業務

＜実施内容・結果＞

①健康まつりやシニア運動会など、4包括合同で行う行事に関し、企画や準備に携わり、当日の役割分担やイベントが滞りなく遂行できるよう調整をした。幅広い世代の参加者に対し、介護予防や認知症予防、包括の取り組み全般を周知できた。
②包括が啓発活動を展開しやすいよう、民生委員や校区社協の代表者名簿、地域のサロン状況一覧を入手し、各包括に提供した。

＜事業計画策定に向けて課題＞

市域全体や地域ごとの集まりやイベントが開催されており、包括の各取り組みを周知できる機会は増えている。対象を高齢者だけに絞らず、子世代・孫世代にも届くような内容を考えつつ、他団体との連携を強化しながら普及啓発していく。

○介護予防ケアマネジメント業務

＜実施内容・結果＞

①介護予防事業のうち、訪問系の各事業の対象者や目的を明確にして活用しやすくするため、市と調整して事業一覧表を作成してもらい、包括に共有し事業の整理を行った。
②介護予防ケアマネジメント会議にて、積年の課題となっているケアマネジメントの「質の担保」につながる取り組みとして、プランチェックや研修の在り方を見直すとともに、付随するマニュアル改訂について意見を出し合った。

＜事業計画策定に向けての課題＞

包括が直面するケアマネジメントに関する課題を市と包括によるプロジェクトチームで協議し、多機関にも意見聞き取りを行い具体策を講じる。また、4包括統一で改定が必要な書類作成や取り決めを調整していく。

○権利擁護業務

＜実施内容・結果＞

①成年後見制度の利用促進に関し、4包括と基幹包括が分担して運営会議や協議会に出席しつつ、いずみ成年後見人サポートセンターとの事業連携がスムーズにいくよう調整した。また、法務省から制度改正の中間試案が発表されたため、その内容を読み解き、一覧にして社会福祉士と共有した。
②高齢者虐待においては、各包括から虐待グレーケースの相談を4件応じ、適宜対応策を一緒に考えた。虐待事案に関しては、虐待防止法に基づく対応は終結したものの、関係性の悪化で再発するケースや見守り支援で継続することも多く、支援に終わりが見えないため包括だけで抱え込まないよう、他機関や地域の協力を得てネットワーク支援体制の構築を促した。

＜事業計画策定に向けての課題＞

成年後見制度の抜本改正などに即座に対応できるよう、情報を常に更新し、各包括や関係機関に率先して情報提供する。また、虐待グレーケースの進捗管理を行い、助言などの後方支援を行っていく。

○包括的・継続的ケアマネジメント業務

＜実施内容・結果＞

①4包括の主任介護支援専門員による法定外研修の実施にあたり、資料の事前確認や研修補助などの後方支援を行った。
②民生委員・児童委員大会において地域包括ケアシステムの概要を伝え、民生委員もネットワークの一員として包括との連携強化を依頼した。

＜事業計画策定に向けての課題＞

ケアマネジメントの動向やICT・デジタル化の流れなどに即座に対応できるよう、情報を常に更新し、各包括や関係機関に率先して情報提供する。そのために、内外研修等を活用し、基幹型包括として対応力向上に努める。

○多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（地域ケア会議の推進）

＜実施内容・結果＞

①個別地域ケア会議の積極的な開催に向け、事前相談で助言を行い、必要に応じ会議に参加しサポートしたが、昨年に比べ開催件数の増加には至らなかった。
②エリア別地域ケア会議は圏域ごとに年4回ずつ開かれるが、要点を絞った議題提出ができるよう1か月前に各包括と打合せ会議を行っている。当日は参加機関それぞれが情報共有し、できることについて有機的に話し合いを行った。

＜事業計画策定に向けての課題＞

第9期計画の目標値を意識しつつ各包括に地域ケア会議の開催を促すとともに、事前相談で助言したり、同席サポートを行う。個々の課題が地域全体の課題や社会資源開発の検討へと発展していけるようエリア別地域ケア会議運営の後方支援を行っていく。

（2）開催会議

主任介護支援専門員関係	基幹ヒアリング	4 回
社会福祉士関係	基幹ヒアリング	4 回
保健師等関係	基幹ヒアリング	4 回
包括全体	包括新任職員向け研修（業務全般について）	3 回
	新任職員3か月後プロセス評価（個人面談）	4 回

（3）会議・研修出席

主任介護支援専門員関係	主任介護支援専門員連絡会	6 回
	入退院連携研修	1 回
	法定外研修	2 回
	介護予防ケアマネジメント会議（研修企画含む）	7 回
社会福祉士関係	法律相談（弁護士によるアドバイザリー事業）	0 回（欠席）
	高齢者虐待防止実務者会議	1 回
	高齢者虐待防止ネットワーク運営会議	4 回
	高齢者虐待レビュー会議	3 回
	虐待グレーケース会議	4 回
	後見人連携入門講座	1 回
	意思決定支援講座	2 回
保健師等関係	介護予防活動支援会議	6 回
包括全体	センター長事前打ち合わせ	2 回
	センター長会議	3 回
	包括責任者会議	1 回
	包括運営協議会	2 回
	個別地域ケア会議（会議同席）	3 回
	エリア別地域ケア会議事前調整会議	16回（4か所）
	エリア別地域ケア会議	15回（4か所）
	第5次和泉市地域福祉基本・活動計画アクションプラン実践報告会	1 回
包括の代表として出席	和泉市医療と介護の連携推進審議会	1 回
	成年後見制度利用促進推進会議	2 回
	成年後見制度利用促進協議会運営会議	4 回
	民生児童委員協議会大会（打ち合わせ会議、当日講話）	3 回
	介護予防事業等に係る事業所選定プロポーザル審査	1 回
市関係	市・強化型ミーティング	12 回

（4）市民への啓発活動

和泉市民健康まつり	1 回
シニア運動会	1 回
光明池あんしんすこやかまちフェスタ（堺市南区包括と光明荘・貴生会包括のコラボ企画）	1 回
年輪大学院	1 回
見守りキーホルダー啓発（ファミリーマート・障害者作業所・和泉市・包括コラボ企画）	1 回

（5）相談受付

相談件数（延）	417 件
相談者：　市内4包括、和泉市（高齢介護室・福祉総務課・生活福祉課・健康づくり推進室）、認知症強化型包括、他市包括、広域事業者指導課、医療介護連携推進コーディネーター、社会福祉協議会（地域福祉係・管理運営係・障がい者基幹相談支援センター・いずみ成年後見人サポートセンター）、いきいきネット相談支援センター、民生委員児童委員協議会、大阪介護支援専門員協会和泉支部、和泉保健所、シルバー人材センター、サービス事業所、警察、運営適正化委員会、大学	
内、総合事業に関連した相談・支援件数	30 件

主な相談内容

・包括業務や運営に関すること
・活動実績報告書（月報）、高齢者福祉サービスの変更に関すること
・個別ケースの相談と多機関との連携に関すること
・地域支援、ネットワーク作りに関すること
・医介連携、ACP、カスタマーハラスメントに関すること
・成年後見制度利用促進に関すること
・法改正、請求業務の見解、WINCAREソフトに関すること
・民生委員児童委員と包括の連携強化に関すること
・災害支援、避難行動要支援者個別計画、BCPに関すること

Ⅱ-3. 令和7年度　認知症機能強化型地域包括支援センターの活動状況（年間）

1．認知症機能強化型地域包括支援センターの職員体制

職種	業務比率	
	本来業務	その他業務
認知症地域支援推進員	100 %	0 %

2．認知症に対する正しい知識の普及啓発

（1）サポーター養成講座支援

開催場所	小・中 高校・大学	企業	地域	計	
開催件数（回）	小　17 中　1 高　3 大　1	7	25	54回	今年度も小・中学校の校長会で講座活用を呼びかけ、小学校は20校中17校、中学校は１校で実施した。未実施校については行事が立て込んでいるため実施できないとの返答あり。昨年度に引き続き、高校、大学でも実施した。企業や地域での講座では、各圏域の認知症地域支援推進員と連携し、企業との事前打合せを通じ、関係性の構築および意向に合わせより具体化した講座を実施した。「認知症サポーター養成講座」を起点に、学校や地域、企業など、地域全体で認知症理解を深めることができている。さらに、幅広い世代へのアプローチのため、小中学校での講座の際には、保護者の参加型を含め学校側へ依頼し、少人数ではあるが実現している。今後も働き世代の「正しい認知症理解」を進めていく。
参加者（人）	1,665	179	498	2,342	

（2）キャラバン・メイト支援

班長会（回）	4回	キャラバン・メイト班長会では、「認知症サポーター養成講座」や「認知症サポーターステップアップ講座」の内容について検討し、誰もが認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって暮らし続けることができるよう、意見交換が活発にできるグループワークを導入した。地域での具体的な関わり方を自分事として考える機会となり、地域における認知症の理解と見守り意識の向上に繋がっている。 キャラバン・メイトの活動支援においては、新規登録者8名が、年度内に1回以上講師として実践的活動ができるよう支援した。また、活動から離れていたメイトへ個別でアプローチし活動についての思いを聞き、再始動を支援した。 一方で、メイトの高齢化や現職業務との調整、一部のメイトへの負担集中が課題となっているため、新規メイト受講者の希望を募る。
連絡会（回）	1回	

3．市民見守り力の向上

（1）SOS声かけ見守り訓練

光明台南校区認知症高齢者等声かけ見守り勉強会	83 名	光明台南校区では、地域が主催する「認知症高齢者等声かけ見守り勉強会オレンジ・ランプ上映会」企画に参画し、新しい認知症観について理解を深められるよう働きかけ、83名が参加した。 各地域包括支援センターによる「和泉市地域出張型認知症講座～観て語ろう（映像）、聴いて語ろう（講座）、体験して語ろう（実践）～」では、４圏域全てにおいて、令和８年3月までに、計16件開催した。特に、地域の小単位での「声かけ見守り体験」のニーズに応じ、「体験して語ろう」講座を2件実施したことで、参加者が困っている人への具体的な声かけ方法を体験的に学び、日常の支援における実践力と心理的ハードルの軽減に繋がった。

（2）チームオレンジの構築

ステップアップ講座開催数	2 回	ステップアップ講座、認知症パートナー交流会を「新しい認知症観」を踏まえた内容で実施した。今後の認知症パートナーとしての活動に繋げるため、認知症パートナーによる活動内容やチームオレンジ立ち上げに関する発表を取り入れることで、参加者が認知症を「わがこと」として考え、ともに支え合えるまちづくりを目指した内容となった。 また、各圏域の認知症地域支援推進員と協働し、チームオレンジへの訪問・啓発活動を強化した結果、認知症パートナー数およびチームオレンジ立ち上げ数ともに増加した。
認知症パートナー交流会開催数	2 回	
チーム立ち上げ総数	125 件	
認知症パートナー数（累積）	356 人	

（3）チームオレンジ数

	第一圏域	第二圏域	第三圏域	第四圏域	市全域
令和6年度	7	57	20	13	84
令和7年度	10	70	24	21	125

4. 認知症医療介護連携

もの忘れ相談会	9 回	「もの忘れ相談会」の相談利用者数は34人であり、地域包括支援センターや専門医などへ繋がるきっかけとなっている。 「初期集中支援チーム員会議」は年10回開催し、初期集中支援事例3件（延9件）および相談ケース12件についてチーム員で検討・支援を行った。 6月の初期集中検討委員会で「初期集中支援早急対応」の実施について提案し、令和7年6月から実施している。個別の困難事例に対する迅速な介入体制を整えたことで、より早期の支援開始が可能となった。また、サポート医連絡会では、認知症サポーターステップアップ講座やもの忘れ相談会について目的や実施計画などを共有しており、医療と介護に関する連携を深めるとともに、次年度も計画的に各種事業を実施することとなった。
初期集中支援	10 回	
その他	3 回	

＊初期集中検討委員会1回、認知症サポート医連絡会2回

5. 認知症ケアの質向上

研修・講座等開催	20 回	「包括職員新人研修」「初期集中支援伝達研修」「認知症関連専門職及びボランティア研修」、小中学校教員向け冬季自主研修「福祉教育」を実施している。また、「ケアマネ連絡会」「エリア別地域ケア会議」で、認知症初期集中支援事業の効果的な活用について周知し、早期発見・早期介入の必要性を専門職へ共有し、連携強化を行った。 「認知症関連専門職及びボランティア研修」では、おおさか希望大使（認知症本人大使）の森井洋一郎氏とパートナーの原美穂子氏を招き、当事者の経験や思いを聴く講座を実施し、本人の思いに寄り添うことの重要性を共有した。 市民フォーラムでは、大阪公立大学大学院特任教授中西亜紀氏の基調講演と市長・認知症地域支援推進員による意見交換会を行い、129名が参加した。 認知症ケアの質の向上や認知症地域支援推進員間の連携強化を目的に「学校地域家庭がつながる福祉教育」「認知症地域支援推進員新人研修」「認知症地域支援推進員現任研修」「チームオレンジコーディネーター研修」などを受講した。

6. 本人・家族支援

オレンジカフェ関連 （施設カフェ・まちカフェ）	152 回	施設カフェ、まちカフェ、ふらっとカフェが安定して開催されている。参加者が着実に増加し、席の確保が難しい状況になるほど盛況なカフェもあり、地域における身近な居場所・相談・交流の場として定着していると感じる。 公的施設を活用したふらっとカフェでは参加者が少ない状況が続いていたため、「手話講座」や「認知症に関する絵本の朗読」を実施するなど工夫し、参加者から満足の声が上がっている。今後は周知方法の見直しとイベント企画の充実により、さらなる活性化を図る。 また、社会福祉協議会主催の「ほっこりきらく会」や桃山学院大学主催の「なごみ会」等の家族会へも積極的に参加し、連携した。
家族会関連	5 回	
その他 （ふらっとカフェ）	9 回	

7. 地域包括支援センターの認知症施策に関する統括業務

認知症地域支援推進員連絡会を開催し、各地域包括支援センターの推進員と情報共有を行い、地域の現状や活動状況などの共通理解を深めている。
推進員の働きかけで、チームオレンジが125チームとなり、認知症機能強化型地域包括支援センターも地域で展開されている活動の場に訪問し、推進員や地域住民の相互理解・連携強化に努めた。また、これらの地域活動の場を活用し、SOSおかえりネットワーク協力者の登録依頼、和泉市認知症ケアパス（認知症の進行と、進行に応じて利用できる支援をまとめたもの）など、認知症施策に関する情報提供・啓発を実施した。
さらに令和7年度は、長年キャラバン・メイトとして活動されている方の協力を得て、市内の小中学校の教員を対象とした「福祉教育の必要性」を伝えるための研修を初めて実施し、教育現場を巻き込んだ横のつながりを広げることができた。
現在の認知症当事者の会や家族会の開催状況を踏まえ、令和8年度は、医療機関へ訪問し関係作りを強化する。さらに医療機関との連携を通じて、当事者が安心して相談や会話を楽しむことができる地域の集いの場に参加できるよう、各圏域の推進員と共に詳細な状況を把握していく。地道な関係づくりを土台として、認知症当事者や家族が中心となる本人ミーティングやピアサポートの場の立ち上げを段階的に増やし、当事者主体の地域支援体制のさらなる拡充を目指す。

8. 会議出席状況（出席した会議のみ記載）

包括全体	・エリア別地域ケア会議（第１圏域）1回 ・エリア別地域ケア会議（第２圏域）1回 ・エリア別地域ケア会議（第３圏域）1回 ・エリア別地域ケア会議（第４圏域）1回 ・認知症地域支援推進員連絡会　12回 ・地域包括支援センター運営協議会　2回	18 回
市	・市／強化型ミーティング	9 回
その他	・認知症支え〝愛〟を考えるまちづくり連絡会	2 回

9. 関係者からの相談件数

内）対応の件数（延）：対応方法別	訪問	電話	面接	他	計
	15 件	55 件	13 件	6 件	89 件

⇒ 相談者

地域包括支援センター	29 件	サービス事業所	5 件	住民組織団体	4 件
社会福祉協議会	9 件	医療機関	0 件	その他	20 件
ＣＳＷ	3 件	民生児童委員	1 件	計	81 件
居宅介護支援事業所	4 件	認知症関連ボランティア	6 件		

⇒ 相談内容＜内：相談件数（延）＞

サポーター養成	17 件	認知症ケア	14 件	その他	14 件
キャラバンメイト	1 件	認知症カフェ	15 件	計	88 件
医療介護連携	17 件	福祉サービス	1 件		
見守り力	7 件	介護保険関連	2 件		

令和７年度の相談件数において、地域包括支援センターからの相談が29件と最も多く、主に「認知症サポーター養成講座」「医療介護連携」「認知症カフェ」についての相談が多かった。中でも、初期集中支援チーム員会議における「早急対応」が始動したことで、同行訪問の依頼が増加し、困難事例に対する迅速な多職種介入の実践に繋がっている。
また、オレンジカフェ等での地道な周知活動により、地域住民からも11件の相談があり、地域住民にとって認知症に関する相談窓口として認識され、地域との繋がりが深まっている。
各圏域の推進員やキャラバン・メイトからは、認知症サポーター養成講座の内容についての相談が多く、連携を図りながら講座を実施できた。さらに、民生委員児童委員や認知症関連ボランティア、住民組織団体、学校関係者など多様な内容の相談に対応した。
今後は、これらの多岐にわたる相談対応を通じて培った関係機関および地域とのネットワークをより強め、地域や関係機関、認知症地域支援推進員、認知症機能強化型で協働して「新しい認知症観」を土台に取り組みを推進していく。

Ⅱ-4．令和7年度　認知症地域支援推進員の活動状況について（年間）

1．認知症医療介護連携（初期集中支援チーム員事業）

		令和６年度		令和7年度	
社会福祉協議会	事前調整・打合せ	2	回	2	回
	参加	4	回	4	回
ビオラ和泉	事前調整・打合せ	1	回	4	回
	参加	1	回	6	回
光明荘	事前調整・打合せ	0	回	1	回
	参加	1	回	5	回
貴生会	事前調整・打合せ	1	回	5	回
	参加	3	回	5	回
計	事前調整・打合せ	4	回	12	回
	参加	9	回	20	回

●令和6年度下半期から、各包括に認知症地域支援推進員0.5人が配置され、認知症医療介護連携に係る実績は増加しており、活動の機会が増えている。

2．市民見守り力の向上

（1）地域の企業へのアプローチ

		令和６年度		令和7年度	
社会福祉協議会	訪問の実施回数	8	件	2	件
ビオラ和泉	訪問の実施回数	8	件	1	件
光明荘	訪問の実施回数	4	件	0	件
貴生会	訪問の実施回数	7	件	3	件
計	訪問の実施回数	27	件	6	件

●企業へのアプローチに関しては生活支援コーディネーターとの協働が必須であり、連携体制を整えている段階にあり、受動的な関わりとなっていることから実績が減少している。今後、生活支援コーディネーターや包括連携協定企業との連携強化などを通じ、働く世代へのアプローチや、地域資源として機能できるよう積極的な取り組みが必要と考える。

(2)チームオレンジの構築･地域の事業所との関係構築

		令和６年度		令和7年度	
社会福祉協議会	ニーズ収集団体数	2	件	0	件
	個別ニーズ収集人数	3	件	0	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	回	12	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	10	回	0	回
	チーム立上げ支援件数	2	回	3	回
	出張講座の実施回数	0	回	3	回
	チームオレンジへの訪問件数	1	件	0	件
ビオラ和泉	ニーズ収集団体数	7	件	8	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	12	件
	ステップアップ講座参加促し数	43	回	15	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	20	回	8	回
	チーム立上げ支援件数	48	回	19	回
	出張講座の実施回数	1	回	3	回
	チームオレンジへの訪問件数	36	件	108	件
光明荘	ニーズ収集団体数	6	件	15	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	1	件
	ステップアップ講座参加促し数	0	回	13	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	回	0	回
	チーム立上げ支援件数	1	回	7	回
	出張講座の実施回数	1	回	4	回
	チームオレンジへの訪問件数	2	件	9	件
貴生会	ニーズ収集団体数	0	件	7	件
	個別ニーズ収集人数	0	件	3	件
	ステップアップ講座参加促し数	4	回	11	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	0	回	2	回
	チーム立上げ支援件数	2	回	15	回
	出張講座の実施回数	0	回	6	回
	チームオレンジへの訪問件数	4	件	18	件
計	ニーズ収集団体数	15	件	30	件
	個別ニーズ収集人数	3	件	16	件
	ステップアップ講座参加促し数	51	回	51	回
	認知症パートナー連絡会参加促し数	30	回	10	回
	チーム立上げ支援件数	53	回	44	回
	出張講座の実施回数	2	回	16	回
	チームオレンジへの訪問件数	43	件	135	件

●チームオレンジ立ち上げ支援の実績を着実に積み上げている。地域の団体へステップアップ講座への参加を促すなど、チームオレンジ参画に向けた働きかけを継続して行えている。
●出張講座の実施回数が増えており、認知症地域支援推進員が地域へ出向くことで、地域での認知症の方への支援や正しい理解についての関心が高まっている。

3. 本人・家族支援

		令和６年度		令和7年度	
社会福祉協議会	オレンジカフェ関連	2	件	1	件
	家族会関連	3	件	1	件
	その他	3	件	4	件
ビオラ和泉	オレンジカフェ関連	7	件	4	件
	家族会関連	9	件	4	件
	その他	5	件	60	件
光明荘	オレンジカフェ関連	2	件	6	件
	家族会関連	3	件	8	件
	その他	0	件	6	件
貴生会	オレンジカフェ関連	4	件	6	件
	家族会関連	6	件	9	件
	その他	4	件	3	件
計	オレンジカフェ関連	15	件	17	件
	家族会関連	21	件	22	件
	その他	12	件	73	件

●オレンジカフェ関連の実績は微増傾向にあり、各拠点での活動との接点が着実に構築されつつある。各拠点が地域資源として機能し始めており、点から線へとつなぎ、地域の実状に応じた地域共生社会のきっかけとなる有機的な場へと発展していけるよう地域とカフェをつなげる働きかけを行っていく。
●その他の内訳として、認知症当事者及び家族等への個別支援の件数が一番多く、いきいきいずみ体操をはじめ地域の様々なイベントへの同行支援や、当事者の会の企画・参加などが含まれており、個別や地域の状況に応じ柔軟に活動を行っている。

Ⅱ-5．令和7年度　生活支援コーディネーター事業の活動状況について（年間）

生活支援コーディネーター：
高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者として、各包括に１名を配置。

おたがいさまサポーター事業：
高齢者のちょっとした困りごとを解決するため、住民ボランティアを養成し、見守りを兼ねた支援を実施。

社会資源の開発：地域交流イベントや拠点、介護予防教室、ボランティア、宅配など、地域にあるサービスの発掘・開発

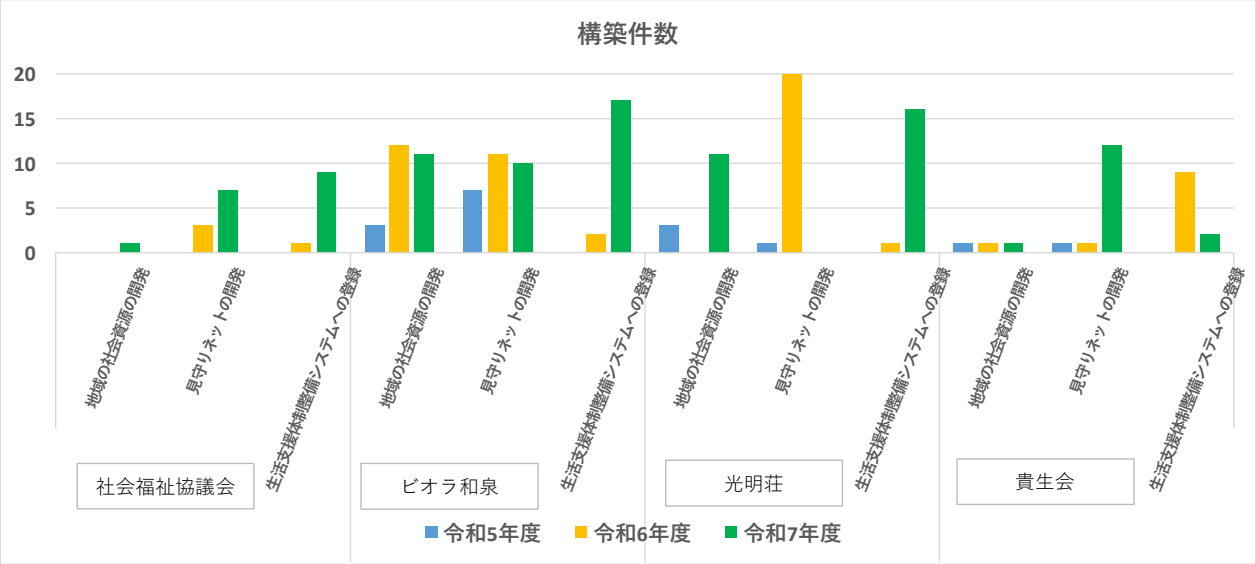
見守りネットワーク事業：
民間企業等に登録してもらい、仕事中に発見した気になる高齢者を地域包括支援センター等へ繋ぐ制度。

生活支援体制整備システム：
地域資源をシステムに入力し、マップ上に地域資源の見える化を行っている。地域の現状を把握し、今後の地域づくりに活用していく。

１．生活支援コーディネーター実績

（１）地域のネットワーク構築件数

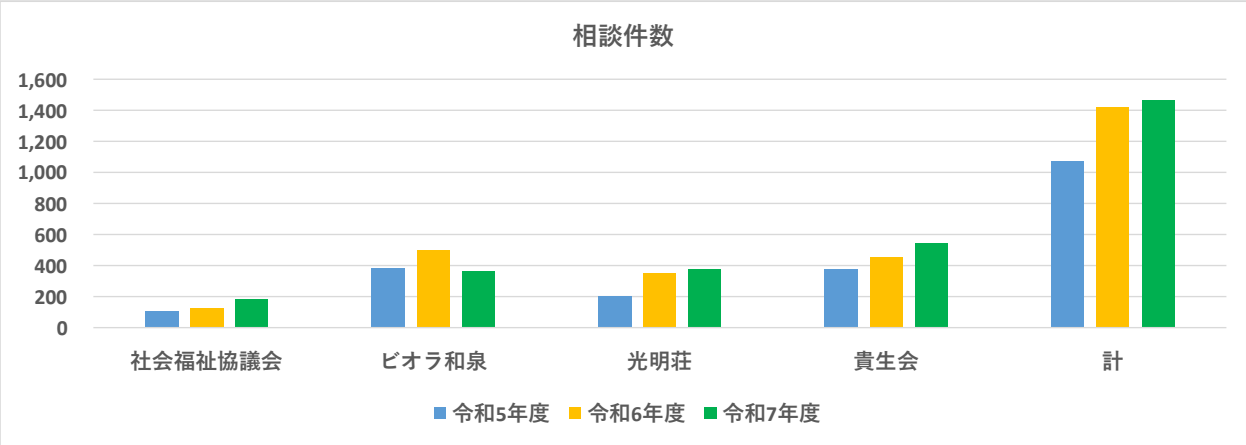
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	地域の社会資源の開発	0 件	0 件	1 件
	見守りネットの開発	0 件	3 件	7 件
	生活支援体制整備システムへの登録	件	1 件	9 件
ビオラ和泉	地域の社会資源の開発	3 件	12 件	11 件
	見守りネットの開発	7 件	11 件	10 件
	生活支援体制整備システムへの登録	件	2 件	17 件
光明荘	地域の社会資源の開発	3 件	0 件	11 件
	見守りネットの開発	1 件	20 件	0 件
	生活支援体制整備システムへの登録	件	1 件	16 件
貴生会	地域の社会資源の開発	1 件	1 件	1 件
	見守りネットの開発	1 件	1 件	12 件
	生活支援体制整備システムへの登録	件	9 件	2 件
計	地域の社会資源の開発	7 件	13 件	24 件
	見守りネットの開発	9 件	35 件	29 件
	生活支援体制整備システムへの登録	件	13 件	44 件



●和泉市内の福祉事業所を中心に、見守りネットの登録拡充をすすめた。また、コンビニや薬局、保険会社の登録が増加傾向。商工会議所と見守りネットワーク事業でどんな連携がとれるか協議した。
●生活支援体制整備システムの資源登録を継続し、合わせてケアマネージャーへインフォーマルな社会資源の周知を実施した。

（2）地域における相談等への対応　（相談件数：延）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	106 件	125 件	181 件
ビオラ和泉	381 件	497 件	365 件
光明荘	204 件	348 件	374 件
貴生会	380 件	452 件	544 件
計	1071 件	1422 件	1464 件



●令和5年度から令和7年度にかけて相談件数は順調に増加している。SCが住民や専門職にとって身近な相談窓口として周知が進んでいる。増加した相談内容を地域課題として集約・可視化を進めていく。

2．見守りネットワーク事業

（1）新規登録事業所

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	0 件	3 件	7 件
ビオラ和泉	7 件	11 件	10 件
光明荘	1 件	20 件	0 件
貴生会	1 件	1 件	12 件
計	9 件	35 件	29 件

（2）協力事業所数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	34 件	37 件	48 件
ビオラ和泉	60 件	74 件	81 件
光明荘	34 件	41 件	41 件
貴生会	58 件	65 件	67 件
市外	5 件	6 件	9 件
計	191 件	223 件	246 件

3．おたがいさまサポーターの活動実績

（1）新規サポーター登録件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	0 人	14 人	4 人
ビオラ和泉	10 人	9 人	5 人
光明荘	9 人	22 人	11 人
貴生会	25 人	18 人	8 人
計	44 人	63 人	28 人

（2）サポーター研修・マッチング件数

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	地域出張型（個別）研修	3 件	2 件	1 件
	マッチング件数	2 人	4 人	2 人
ビオラ和泉	地域出張型（個別）研修	3 件	2 件	5 件
	マッチング件数	1 人	6 人	21 人
光明荘	地域出張型（個別）研修	3 件	1 件	2 件
	マッチング件数	3 人	1 人	17 人
貴生会	地域出張型（個別）研修	3 件	4 件	4 件
	マッチング件数	8 人	12 人	11 人
計	地域出張型（個別）研修	12 件	9 件	12 件
	マッチング件数	14 人	23 人	51 人

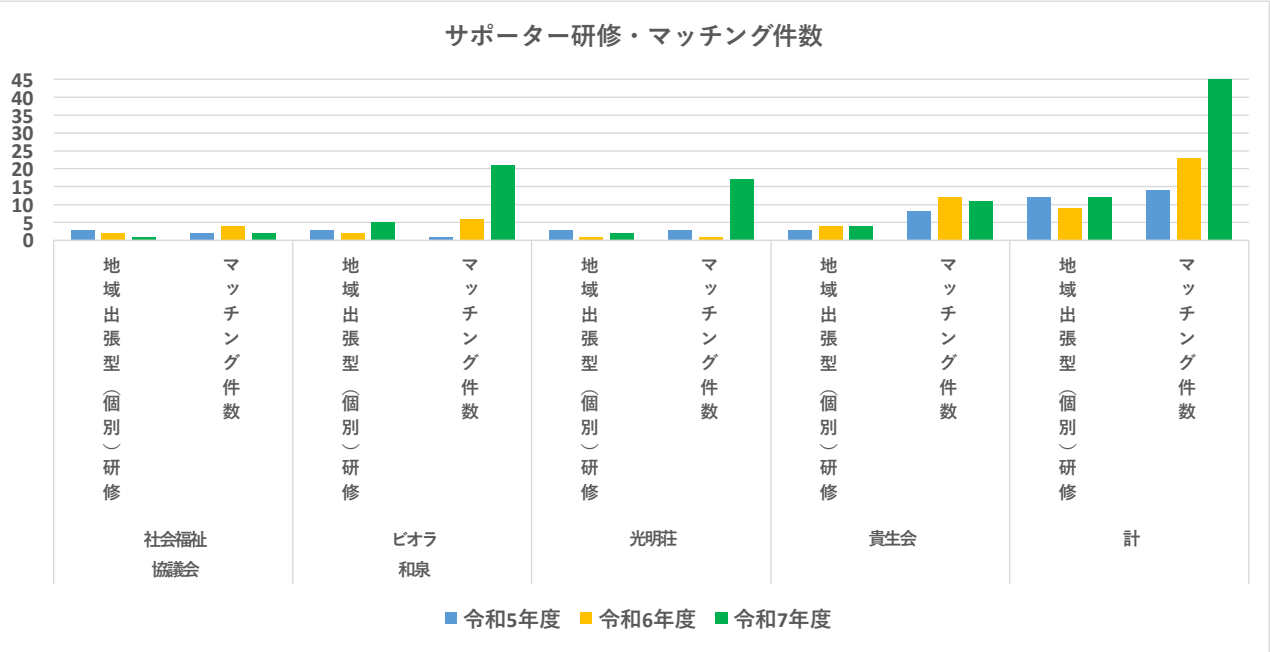
（3）登録者数・活動者数

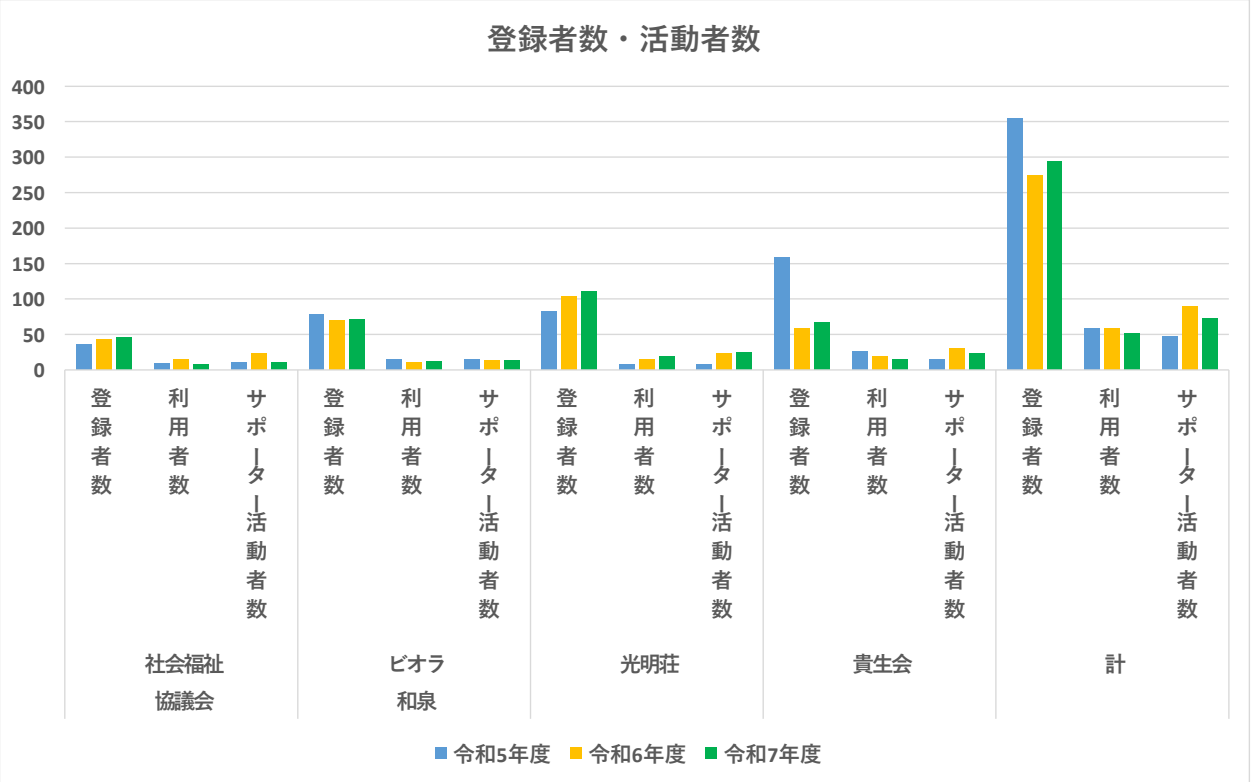
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
社会福祉協議会	登録者数	36 人	42 人	46 人
	利用者数	9 人	15 人	8 人
	サポーター活動者数	10 人	23 人	10 人
ビオラ和泉	登録者数	78 人	70 人	71 人
	利用者数	15 人	10 人	11 人
	サポーター活動者数	14 人	13 人	13 人
光明荘	登録者数	82 人	104 人	111 人
	利用者数	8 人	15 人	18 人
	サポーター活動者数	8 人	23 人	25 人
貴生会	登録者数	158 人	58 人	66 人
	利用者数	26 人	19 人	14 人
	サポーター活動者数	15 人	30 人	24 人
計	登録者数	354 人	274 人	294 人
	利用者数	58 人	59 人	51 人
	サポーター活動者数	47 人	89 人	72 人

（4）活動の内訳

（単位：件）

	ごみ出し	お出かけ応援	買い物代行	図書館	家庭菜園	あったか訪問	合計
社会福祉協議会	3	1	2	1	1	3	11
ビオラ和泉	7	1	3	1	4	3	19
光明荘	8	5	2	1	1	5	22
貴生会	9	1	4	0	2	10	26
計	27	8	11	3	8	21	78





●事業のマニュアル改定を実施、利用にあたり対象者の介護度を見直し、一人の利用者に対して複数人でサポーターの活用を実施できるよう見直した。
●前年度と比較して、おたがいさまサポーターの新規登録者数が減少している。新たな担い手として期待される働き手世代へ向けての周知に取り組み、合わせて必要な方が利用できるように、地域や専門職へ周知を進めていく。全体の登録者数は増加傾向にある。一人暮らしの高齢者の増加とともに本事業の活用が期待されており、引き続き取り組んでいく。